

不動産関連情報のデータ集約に係る基本計画検討業務  
公募型プロポーザル選定委員会議事要旨

項 目		内 容
1	日 時	令和5年6月8日（木）13:50～16:20
2	場 所	WEB
3	出席委員	土木建築局建築技術担当部長 総務局DX推進チーム政策監 土木建築局建設DX担当課長 土木建築局都市計画課長 土木建築局建築課長 土木建築局住宅課長
4	議 題	不動産関連情報のデータ集約に係る基本計画検討業務事業者の選定
5	担当部署	土木建築局住宅課
6	開催方法	参集（オンライン）
7	議事内容	<p>得点の最も高かった事業者を選定することに委員からの異論はなく、業務予定者を株式会社日建設計総合研究所に決定した。</p> <p>なお、各委員の主な評価・選定理由については、次のとおりである。</p> <p>提案者A（不動産テック協会・リーウェイズ・中電技術コンサルタント共同体）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仕様書に沿った提案になっておらず、県が求める業務内容がどこまで遂行されるかという不安があった。</li> <li>・提案内容が抽象的で具体性を欠いていた。ヒアリングの結果を受けて具体的に検討するという提案で、業務内容に対する理解度が乏しいという印象を受けた。</li> <li>・実施体制について、業務全体管理が2社にまたがっており、誰が責任者なのか不透明であった。</li> </ul> <p>提案者B（株式会社日建設計総合研究所）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題を具体的に把握し、それに対する対応の方向性も見えているという印象を受けた。個々の提案内容に具体性があるという点が特に評価でき、各委員の質疑に対して的確に回答していた。</li> <li>・実施体制について、短期間の業務ということを念頭に構成しており、外部アドバイザーを充てて外部の意見も取り入れながら取り組む姿勢に熱意を感じた。</li> <li>・業務実績や各方面の関係者とのパイプが充実しており、次の展開を期待させる提案であった。</li> </ul>